



恒久平和を誓う



6月17日、える夢館で平成26年度豊頃町戦没者追悼式が行われ、遺族や来賓など58名が参列し、本町の戦没者72名をしのびました。

午前11時にサイレンの吹鳴とともに参列者全員による黙とうが行われました。

宮口町長は「私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄が、戦禍の中で散華された多くの方々の尊い犠牲の上に成り立っていることを忘れてはならない」と式辞を述べました。

また、町殉公遺族会の多田誠一会長は「私たち遺族は、皆様の残された偉業を胸に抱き恒久平和達成のため今後も一層の努力をいたして参ります」と追悼の辞を述べました。

子どもたちが地引き網体験学習



6月23日、長節湖で大津小学校全校児童と豊頃小学校の4年生、大津保育所の子どもたちが参加し、地引き網体験学習を行いました。

子どもたちは、二手に分かれて一生懸命網を引き、網が岸まで来ると網の中の魚が元気よく跳ね、子どもたちは歓声をあげていました。

捕った魚はかごに入れられ、指導に訪れた十勝地区水産技術普及指導所の職員から種類や名前、特徴について説明を受けた後、再び長節湖に放されました。子どもたちはその後シジミ狩りをするなど、楽しい経験をとおして地域の基幹産業である漁業に理解を深めました。

小学校、保育所で人権の花運動



5月22日に茂岩保育所で、5月28日は豊頃小学校で、6月20日には大津小学校でそれぞれ『人権の花運動』が行われ、マリーゴールド、サルビア、ペコニアなどの花の苗が町から贈られ、児童たちが1本1本ていねいに花壇に植えました。

この運動は、小学生と保育所を対象に花壇等に花の苗を植え、花を育成することを通して感謝の心や思いやりの心を育むことを目的とした運動です。

豊頃町人権擁護委員の鳥宮慶法さんは「花を植えた後は、水をやって秋まで育ててください。育てることを通して周りの人たちへの思いやりの気持ちを養ってください」と話していました。



小中合同クリーン作戦



6月17日、町内の小中学校が連携し『小中合同クリーン作戦』が行われました。

この日は、豊頃小学校の生徒141名、大津小学校の生徒9名、豊頃中学校の生徒79名と教職員が大津の前浜でごみ拾いを実施しました。生徒たちは、前浜に集合し、開会式を行った後、8班に分かれ、ごみ袋と火ばさみを手にして、燃やすごみ、燃やさないごみ、有害ごみに分けて、空き缶やペットボトルなど、熱心にごみを拾っていました。



豊中3年生が保育実習



6月13日、茂岩保育所で豊頃中学校3年生の生徒たちによる保育実習が行われました。

これは、家庭科学習の一環で行われ、生徒たちは8班に分かれ保育所の4～5歳の園児を対象に、絵本の読み聞かせをしました。

園児たちは、生徒たちが読み聞かせしてくれる絵本を真剣に見ていました。

その後、生徒たちは体育館で、園児たちと一緒に『しっぽ取りゲーム』を行い楽しい時間を過ごしました。



町内小中学校緑の募金運動



平成26年度『緑の募金運動』が、北海道と緑の会主催により実施されました。

『緑の募金運動』とは、公益社団法人北海道森と緑の会が実施主体で行われ、地球規模での森林づくりを進めることを目的に、『緑の募金』が重要な緑の普及啓発活動であるとの認識のもと、全道の市町村緑化推進委員会等と連携し行われる運動です。

例年通り、豊頃中学校生徒会、豊頃小学校児童会や大津小学校児童会などの各団体が協力し、今年度は478人の方から52,022円の寄付金が集まりました。

▽はるにれは見ていた
広報とよころ

▽はるにれは見ていた
広報とよころ

▽はるにれは見ていた
役場だより

▽はるにれは見ていた
役場だより

